通算法人である中小企業者等の試験 脱額控除可能分配額等の計算に関す		事 業 年 度 : 法人名
也の通算法人の試験研究費の額の合計額 (別表+ハ(ニ)「12の計」)-(別表六(+)「1」)	1	他の通算法人の調整前法人税額の合計額 (別表十八(二)「16の計」) - (別表六(十)「14」)
予通算法人の試験研究費の額の合計額(1)+(別表六(十)「1」)	2	各通算法人の調整前法人税額の合計額 (16)+(別表六(十)「14」) 17
の 合他の通算法人の控除対象試験研究費の 計額の合計額 額(別表十八(二)「13の計」) - (別表六(十)「4」)	3	通31 第日 親以 法前 人 人 成 の開 事始 ます
第各通算法人の控除対象試験研究費の額の合計額 (3)+(別表六(十)「4」)	4	額 年3 (11) > 10%の場合の特例加算割合 基 度事 が業 令年 和度 8の ((11) - 10 (小数点以下3位未満切捨て)
合 他の通算法人の比較試験研究費の額の合計額 自 (別表十八(二)「14の計」) - (別表六(十)「5」) 域	5	年場。 3 合 月 法 人 税 額 基 準 額 第 ((17) + (別表六(十三)「9」)) × ((18)、20
式 各通算法人の比較試験研究費の額の合計額 (5)+(別表六(十)「5」)	6	(0.25+(19))又は0.25) 税 額 控 除 可 能 額 ((15)と(20)のうち少ない金額)
日 合 算 増 減 試 験 研 究 費 の 額 (2) - (6)	7	控 除 分 配 割 合 (別表六(十)「14」)÷(17)
合	8	税額控除可能分配額 (21)×(22)当初申告税額控除可能額
す 他の通算法人の平均売上金額の合計額	9	当初中
(別表十八(二)「15の計」) - (別表六(十)「8」) (別表十八(二)「15の計」) - (別表六(十)「8」) (別表十八(二)「15の計」) - (別表六(十)「8」) (別表十八(二)「15の計」) - (別表六(十)「8」)		の (21) ≧ (24) の 場 合 26 申 T N は T N は は T N は は T N は は T N N は T N N は T N N N N
(9) + (別表六(十) 「8」) 百	10	税額控除超過額 (24)-(21)
合 算 試 験 研 究 費 割 合	11	が (25) > 0 の場合の税額控除可能分 (24) 配額 (25) - (27) 28 修 (マイナスの場合は 0)
割 増 前 合 算 税 額 控 除 割 合 $\frac{12}{100} + ((8) - \frac{12}{100}) \times 0.375$ (0.12 + 満の場合又は $(6) = 0$ の場合は (0.12)	12	正 場 (27) > (25) の場合の税額控除超過 取戻税額 (27) - (25) 29
度 控 (11) > 10 % の 場 合 の 控 除 割 増 率 ((11) - 10 / 100) × 0.5 例 (0.1を超える場合は0.1)	13	#特定欠損金額が当初申告非特定 30 大損金額を超える部分の金額 30 定欠 (30) の 法 人 税 額 相 当 額 31 欠損 (01) の 以 世 形 だ だ ま ま ま ま
合 算 税 額 控 除 割 合 (12)+(12)×(13)	14	損金 (31) の 当 期 税 額 基 準 額 金額 (31)×((18)、(0.25+(19))又は 32 額を 0.25) が超 調 整 後 税 額 控 除 可 能 額
(小数点以下3位未満切捨て) (0.17を超える場合は0.17) 中小企業者等試験研究費基準額	円 	場 当え ((15) と ((20) - (32)) のうち少な 33 い金額) い金額) よ (24) > (33) の場合の非特定欠損金
(4)×((14)又は0.12)	15	日 非 調整取戻税額 (24) — (33)